

つれづれ

平成29年12月19日(火)

「言志四録」より



南海天下茶屋駅の階下に書店があります。そこには古書のコーナーがあり、時折立ち寄りおもしろそうな本はないかと探すことがあります。先日も古書コーナーに行ってみると、佐藤一斎（江戸時代後期の儒学者）が著した「言志四録」の訳本を見つけました。佐藤一斎はこの書を通じて、儒学を極めて考え抜かれた人間の行動基準を著しました。その中で学ぶことの意義について記された項目があります。

「少にして学べば壮にして為すこと有り。壮にして学べば老いて衰えず。老いて学べば死して朽ちず」

「青少年時代に勉強を重ねれば、壮年期には成果を残すことができる。また壮年期にしっかりと勉強すれば、年老いてからも気力は衰えることはない。老年期に学び続ければ、亡くなった後も業績は次の世代へに引き継がれる」という意味です。

私たちにとって大切なことは、いくつになっても学び続けることです。学び続けることで人は成長していきます。逆に言えば、学びをやめた瞬間に人の成長はなくなるのです。また、学んだことを、世のため人のために生かしていくことも大切であると思います。

2学期もあと数日となりました。今年の最後を「学び」をキーワードにして締めくくってください。

※壮年期→働き盛りの年頃

※儒学→孔子に始まる中国伝来の政治・道德の学問

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP→<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>